



東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY

令和5年度
実践事例集

株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY

CONTENTS

大田区立都南小学校	P. 2
中央区立日本橋中学校	P. 3
東京都立小松川高等学校	P. 4
東京都立江東特別支援学校（職能開発科）	P. 5
埼玉栄高等学校	P. 6
昭和学院秀英中学校	P. 7
江戸川女子中学校・高等学校	P. 8
共立女子高等学校	P. 9
東大和市立第七小学校	P.10
八王子市立第六中学校	P.11
東京都立保谷高等学校	P.12
吉祥女子中学校	P.13
青森市立筒井中学校	P.14
二戸市立福岡中学校	P.14
盛岡市立松園中学校	P.15
朝日町立朝日中学校	P.15
長野県松本県ヶ丘高等学校	P.16
福井県立高志中学校	P.16
名古屋市立守山西中学校	P.17
福知山市立大江中学校	P.17
岡山県立岡山城東高等学校	P.18
愛媛県立新居浜東高等学校	P.18
筑紫女学園高等学校	P.19
熊本学園大学付属高等学校	P.19

英語でのコミュニケーション体験

大田区立都南小学校

【TGG利用に関する基本情報】

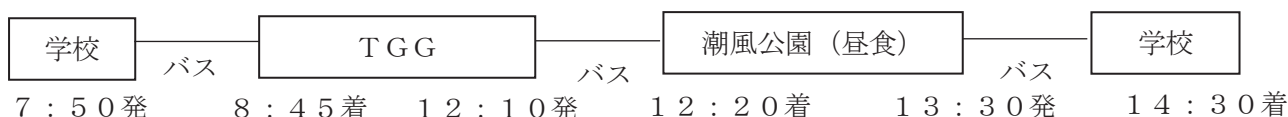
利用日	令和5年2月15日(水)
利用学年・参加人数	第6学年・54人
利用コース	半日(セッション1-2)
利用級	初級
教育課程上の位置付け	外国語科(校外学習)
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

本校では、外国語による言語活動を通してコミュニケーション能力を身に付けるために、第1学年から第6学年まで外国語専科による授業、ALTとのチームティーチングを実施している。また6年生は国際理解教育の一環として、カナダ在住の日本人の方にオンラインで特別授業をしていただき、日本との生活や環境、文化の違いについて聞くことで、海外への興味を高めた。

○利用日の行程



○TGGでの取り組み及び成果について

- ・会話が英語だけに限定されていたため、ジェスチャーや表情なども活用しながら豊かなコミュニケーション活動に取り組んでいた。
- ・様々なアトラクションが経験できたことで、どんな場で英語が活かされるのかを身をもって体験できていた。

○児童の変容について

- ・ジェスチャーを使ったコミュニケーションの有効性に気付いていた。
- ・これまで学習した英語を使ってコミュニケーションをとれたことで、英語を話す能力が伸びていることを自覚できていた。

○本校のTGG利用の特徴について

本校においては小学校段階での外国語の総まとめの場として、毎年6年生がTGGを訪問している。

○事前学習や事後学習について

- ・事前学習では、施設の概要を担当から伝えた後、事前動画を視聴し、一人一人がどんな目標をもって活動するのかを考えさせた。
- ・事後学習では、活動の内容が気付いたことをふり返り、新聞にまとめた。また、どんな思いで中学校の英語に取り組むのかを考え、話し合った。



日本文化と英語のコラボレーションを楽しめました！

英語村1日体験を通して

中央区立日本橋中学校

【TGG利用に関する基本情報】

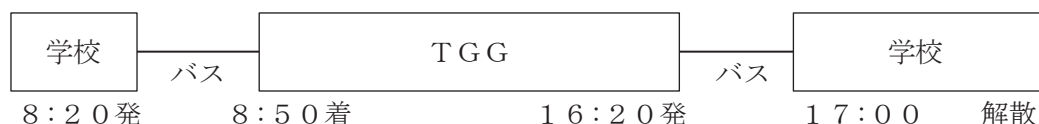
利用日	令和5年9月5日(火)
利用学年・参加人数	第2学年・120人
利用コース	1日
利用級	中級
教育課程上の位置付け	外国語科(校外学習)
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

2学期に、区内4校のALTをローテーションで各校に派遣し、コミュニケーションテストを行っている。ネイティブスピーカーと1対1で話す機会を設けることで、場面に応じて適切な英文を即興で話す力を育むことを目的としている。

○利用日の行程



○TGGでの取り組みおよび成果について

当初、英語での活動に不安を抱いていた生徒も、エージェントと関わる中、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを体感し、笑顔で取り組んでいた。英語「を」学ぶのではなく、英語「で」学ぶという貴重な体験ができたことで、英語だけでなく様々な文化に触れることへの興味関心が高まった。

○児童・生徒の変容について

英語を話すことに抵抗のある生徒が多かったが、体験を通じて英語の楽しさを体感したり、分からない悔しさを味わったりしたことで英語学習への意欲が高まった。内容を全て理解できなくても状況や聞き取れたキーワードから推測して会話し、伝わったという成功体験を通して、伝えようとする気持ちが大切であるということに気づき、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢が育っている。

○本校のTGG利用の特徴について

第2学年の2学期に全員で参加している。体験を通じて英語でコミュニケーションをとることの楽しさや自分の考えが相手に伝わった時の喜びを感じ、学習意欲を高めることを目的としている。

○事前学習や事後学習について

- ・事前学習として、アトラクション・エリアやアクティブイマージョン・エリアについての概要を説明し、自己紹介や基本的な挨拶の確認を行った。
- ・事後学習として、当日の振り返りを行った。振り返りでは、1日を通して学んだ内容や英文に加えて、上手く伝えられなかったことを各自が調べ、どのように伝えたら良いかを考えた。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年4月14日（金）
利用学年・参加人数	第1学年・320人
利用コース	1日
利用級	中級+
教育課程上の位置付け	学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について 英語教育推進校として

- ・4技能習得に力を入れた指導（外国人指導員によるスピーキング個別指導・英作文添削指導）
- ・ネイティブスピーカーによるチームティーチングを3年間に渡って5科目以上で実施、海外修学旅行（予定）で現地の生徒と交流、年間を通じて1年生全員対象のオンライン英会話を実施。
- ・南オーストラリア州の高校とオンライン交流・KGT (Komatsugawa Global Team)による英語の学校案内パンフレットや学校紹介ビデオの作成。

○利用日の行程



○本校のTGG利用の特徴について

入学直後のスプリングセミナーの一環として実施。外国にいるような空間に身を置きオール・イングリッシュで意思を伝え合い、理解し、協働する実践体験を通じ、これから始まる高校での英語学習に向け意欲を高めることが狙いである。学校のクラスメイトとしてまだ顔と名前が一致しないような時期に8人チームとして協力し合い、エージェントの指示や支援を受けながら課題をクリアしていく。このようなTGGでの様々なエリアでの学びは、英語学習へ向けた刺激となるばかりでなくアイスブレイキングとしても非常に有効である。

○生徒の変容について

比較的小となしい生徒が多く、入学直後ということもあり、生徒がリラックスしてアクティビティに臨めるかどうか心配していたが、Public Speaking などプレゼンテーションスキルを高めるプログラムや Broadcasting など緊張感を伴うようなプログラムも大いに楽しんだようで、ぜひまたTGGを利用したいという生徒が多い。エージェントのバックアップが適切だったため、生徒は安心して力を発揮できた。

○事前学習や事後学習について

スプリングセミナーの中で生徒1人1人にセッション内容と流れを理解させ、事前学習教材をオンラインで配信。事後にはスプリングセミナーとしての振り返りの中で英語学習をどう進めていくかを考えさせた。

東京都立江東特別支援学校職能開発科の実践

東京都立江東特別支援学校（職能開発科）

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和4年9月22日（木）
利用学年・参加人数	第2学年・20人
利用コース	半日（セッション4・5）
利用級	初級
教育課程上の位置付け	学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

本校高等部職能開発科は卒業後企業就労を目指す生徒が在籍している知的障害の特別支援学校である。英語教育は教科「外国語」で設定しており、簡単な英会話や単語練習の学習を行っている。また、ALT（外国語英語等教育補助員）による授業も実施しており、生徒が楽しみながら生の英語に親しんでいけるよう取り組んでいる。国際理解教育では昨年度「子供を笑顔にするプロジェクト」の取り組みとして、南アフリカ共和国出身のメンバーによる体験型ドラムエンターテインメントを体験した。活動を通じて、生徒一人ひとりの個性や感性を育み、心を豊かにすることができた。

○利用日の行程



○TGGでの取り組みおよび成果について

アトラクション・エリアで空港、ホテルやレストランでの実際の場面を想定した体験とアクティブイマージョン・エリアで身近な物を使って音を作る体験を行った。実際に「見て・聞いて・触れる」経験をすることで、「英語って難しい」から「英語って楽しい」という意識・態度に変化した。

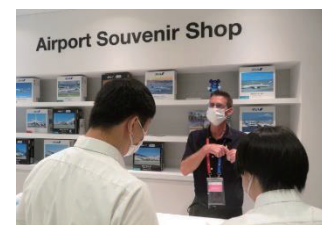
○児童・生徒の変容について

学習前は英語に対して消極的な生徒が多かった。事前学習やプログラムを通して、始めは緊張していた生徒の表情がプログラムの途中から笑顔に変わった。自分から伝えたいとアクションを起こし自分の意思や気持ちが伝わることの喜びを感じることができた。卒業後、就労を目指す生徒たちにとって、自分から積極的に発信する体験は、コミュニケーションの観点からも素晴らしい機会となった。

○事前学習や事後学習について

事前学習では、英語、ホームルーム活動や総合的な探究の時間などで「事前学習教材」の動画を活用し、TGGでの活動の流れや内容を学習した。挨拶や簡単な英文を練習でき、楽しみながら学習し当日の見通しをもつことができた。事後学習では、当日の写真等を見て振り返りながら体験の感想を発表し合った。生徒たちは「楽しかった」「言いたいことが伝わってうれしかった」「また経験してみたい」との感想が多く有意義な経験となった。

アトラクション・エリアでの体験の様子



【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年4月12日（水）
利用学年・参加人数	第2学年・693人
利用コース	1日
利用級	中級
教育課程上の位置付け	学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

本校は、建学の精神「人間是宝」、校訓「今日学べ」の教育理念のもと、世界の檜舞台で活躍し、国際社会の発展と繁栄に寄与できる人材の育成に努めてきました。特に近年国際化が急速に進展している現状に着目し、国際交流や夏季海外語学研修の一層の推進を図り、着実な成果を収めてきました。今や国際教育は、本校の輝かしい校風や伝統となって、内外から高く評価されています。

○利用日の行程



○TGGでの取組みおよび成果について

アトラクション・エリアとアクティブイマージョン・エリアを体験し、学習してきた英語を実際に使い「英語が通じた！」という喜びや達成感を得ることができた。

○事前学習や事後学習について

TGGの教材を活用し学年全体で事前指導を実施した。そのため、当日は臆することなく積極的に英語で話すことができた。クラスの垣根を取り払ってグループ分けしたため、初対面の生徒同士で活動することとなった。適度な緊張感とともに真面目に楽しく取り組めた。

○児童・生徒の変容について

TGGで英語を話すのは楽しいという成功体験を得ることができた。大多数の生徒がTGGでの活動に充実感を持った。この体験をきっかけに、外国語学部や国際学部に興味を持つ生徒が増え、将来の進路に影響を与えた。

○本校のTGG利用の特徴について

本校は普通科と保健体育科、さらに中学校も併設しており、国際教育の一環として普通科2学年の学校行事として取り入れている。その記事は校内の通信システムや学園の新聞に掲載している。

1年間の成果として

昭和学院秀英中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年3月23日(木)
利用学年・参加人数	第1学年・181人
利用コース	半日(セッション1-2)
利用級	中級
教育課程上の位置付け	語学研修行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

中高6カ年の語学研修の流れとして、中1でTGG、中2で2泊3日の語学研修、中3でホームステイを兼ねた海外語学研修(希望者)を実施している。高校生にも希望者に向けて海外語学研修を実施している。また本校周辺の大学との連携事業として、大学での語学の授業を年間通して受講するプログラムや、海外からの留学生を本校に招いて本校生徒と一緒にディスカッションなどをするプログラムも行っている。

○利用日の行程



○TGGでの取り組みおよび成果について

セッション1では日常生活の様々な場面を想定したプログラムに参加。生徒ひとりひとりとTGGエージェントとの練習時間がしっかりととれている。良いトレーニングとなった。セッション2ではグループ毎にニュース番組を作る、プログラミングでロボットを操作するなどアクティブなプログラムに参加。どれも英語で進行されるが、TGGエージェントが適宜各グループにわかりやすくアドバイスをしており、生徒はそれぞれのプログラムに夢中であった。

○児童・生徒の変容について

まとまった時間で英語使用が必然となる濃密な環境の中に身を置くことで、自ら発信することへのハードルが下がっていき、自信がつくことと積極的な姿勢が見られるようになった。

○本校のTGG利用の特徴について

普通の授業では週1回ALTの授業があり、中学では1クラスに2人のALTで実施している。TGGは中1の3月に実施しており、1年間の取り組みの最後としてアウトプット中心のTGGプログラムは最適であり、自信をつけて中2への英語学習に移行している。

○事前学習について

- ・事前学習用ビデオを視聴し、TGGでの学習イメージを持たせ、目的をはっきりさせる。
- ・アクティブイマージョン・エリアでのプログラムの希望調査を行う。(人数の関係で第1希望のプログラムになるとは限らない。)

授業で培った英語力を実践

江戸川女子中学校・高等学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年3月6日(月)～3月8日(水)
利用学年・参加人数	中学1・2・3学年・ のべ895人
利用コース	1日
利用級	中級・上級
教育課程上の位置付け	学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

コロナで中止になっていた海外修学旅行(カナダ)、語学研修(オーストラリア、NZ)が再開(高校)。中高ともにオンライン英会話の授業がある。また中学国際コースでは、週1回グローバルスタディーズの授業があり、世界の様々な事象・問題について英語でプレゼンテーションをしている。

○利用日の行程



○TGGでの取り組みおよび成果について

魅力的な施設での多様なプログラムを通して、英語のコミュニケーション能力だけでなく、異文化を体験できる有意義な研修となっている。さらに上級クラスの生徒は、SDGsなどの知識、理解を深めるよい機会となった。明るく、親切なエージェントの方々のおかげで、2日間楽しく過ごせていた。

○児童・生徒の変容について

1年生の時には、自分の言いたいことを上手く伝えられないもどかしさを感じていた生徒も、学年が上がるにつれて「自分の英語が通じた!」という成功体験につながり、少しずつ自信につながっている。

○本校のTGG利用の特徴について

毎年、中学1年～3年までの全員が学年末の2日間(3年生は1日)参加。この体験が高校での海外修学旅行や語学研修でも活かされると期待している。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年5月29日(月)～6月1日(木)
利用学年・参加人数	高校第1学年・ 321人
利用コース	1日
利用級	中級・上級
教育課程上の位置付け	学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクション・エリア <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョン・エリア



○本校における英語教育・国際理解教育について

英語を「読む」「聞く」というインプットはもちろん、「話す」「書く」というアウトプットにも力点を置く「発信型英語教育」をベースにしている。4技能をバランス良く育み、実践的なオーラルワークを通して「コミュニケーションに使える英語力」の向上を目指している。また、中高生の海外研修や短期・長期留学制度も取り入れており、グローバルに活躍する人材の育成に力を注いでいる。

○利用日の行程



○TGGでの取組みおよび成果について

人数が多いため、2グループに分けて、2日間で実施した。全グループ、アトラクション・エリアおよびアクティブイマージョン・エリアを体験した。生徒個々の英語運用力に応じて2つの利用級(中級と上級)で実践した。

○児童・生徒の変容について

英語の得意・不得意にかかわらず、English Speakerを相手にした実践的なアクティビティ、英語によるインタラクションやグループワークを通して、意欲的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られた。また、この研修への満足度は高く、英語学習はもちろん、海外留学や海外生活への興味・関心が高まった。

○本校のTGG利用の特徴について

TGG開業前に、TGGで行われる体験プログラムの開発に本校が協力した経緯もあり、学校行事と位置づけて、高校1年生で実施している。中学で身につけてきた英語の知識・能力を実際に使う機会として捉えている。海外研修や短期・長期留学に参加する生徒にとって、事前練習の良い場となっている。

TGGを活用した外国語学習の充実

東大和市立第七小学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年6月30日（金）
利用学年・参加人数	第5学年・52人
利用コース	半日（セッション2-3）
利用級	初級
教育課程上の位置付け	外国語科・学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクションシーン <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョンシーン



○本校における英語教育について

本校では、第3・4学年において、外国語を使った活動を楽しさの外国語への親しみがもてるように、年間35時間の「外国語活動」の授業を実施している。また、第5・6学年においては、外国語によるコミュニケーションの基礎となる資質・能力を育むことや簡単な外国語の読み書きを習得できるように、年間70時間の「外国語科」の授業を実施している。

「外国語活動」と「外国語科」の授業では、より外国語に親しみをもちつつ、理解を深めるために、ALTを活用した学習活動を各学年において、年間50時間程度実施している。

○利用日の行程



○事前学習や事後学習

【事前学習】TGG利用にあたり、用意していただいた動画を活用し、必要な単語や挨拶などの学習をする。

【事後学習】事後学習教材を活用し、理解をより深められるようにしたことやTGGで習得した知識を持続して活用できるような学習活動を展開した。

○児童・生徒の変容について

- ・エージェントの方との直接、外国語でのコミュニケーションができたことで、自信をもって、自主的に外国語を活用したコミュニケーションを取ろうとする姿が増えていった。
- ・外国語を活用する場面が多くあったため、外国語への興味関心を深められた。

○本校のTGG利用の特徴について

①第5学年で、中学年の外国語活動から教科「外国語」へと変わり、より実践的な外国語の活用の仕方を理解できるようにするため。

②外国語を使って、コミュニケーションをする楽しさをより実感する。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年6月28日(水)
利用学年・参加人数	第3学年・88人
利用コース	半日(セッション1-2)
利用級	中級
教育課程上の位置付け	総合的な学習の時間
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクションシーン <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョンシーン



○本校における英語教育・国際理解教育について

本校ではグローバル人材の育成に力を入れており、日本人としての自覚と誇りを養うために地域を題材とした探究活動を行ったり、海外出身者との交流を通じた多文化理解活動を行ったりしている。留学生を招いた多文化理解の授業や、米軍横田基地内のミドルスクールの生徒との交流等、さまざまな活動を行っているが、英語学習の視点だけではなく多様性を受け入れる力や相互理解の視点も大切にしている。

○利用日の行程



○TGGでの取組みおよび成果について

デジタル技術を活用した空間で、日常生活のシーンや創造的なミッションの完遂に向けたプログラムに参加。エージェントのサポートのおかげで、生徒も一生懸命に英語を使う気持ちが高まり、コミュニケーションを楽しむことができた。

○児童・生徒の変容について

英語だけを使用する体験に初めは緊張や不安を感じている様子だったが、体験が進むうちに少しずつ楽しさや達成感を感じていた。エージェントの発話の内容が分からなくても、知っている表現から推測をしたり、文法や語彙に間違いがあっても何とか伝えようとしたりする姿を多く見ることができた。以後の授業でも、同様の姿勢で英語のやり取りを楽しもうとする生徒が増え、体験の効果を感じ取ることができている。

○本校のTGG利用の特徴について

本年度より中学3年生の1学期に学年全員で参加。英語の授業では英語での発表や、やり取りを繰り返し練習している。リアルに近い環境で、英語を使うことや考えを伝えることの楽しさを感じ取り、さらに英語を話せるようになりたいという気持ちの醸成を目標にしている。

○事前学習や事後学習について

事前学習ではTGG準備ブックを、提供されている動画も合わせて当日に使える英語表現を練習した。事後学習では感じたことや学んだことを記録にまとめ、今後の英語学習に活かすように指導した。また、当日の体験の中で言いたかったけれども、うまく言えなかった表現をまとめさせた。

日帰り語学体験学習 @TGG GREEN SPRINGS (立川)

吉祥女子中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年6月22日(金)
利用学年・参加人数	第2学年・245人
利用コース	1日
利用級	中級
教育課程上の位置付け	学校行事 英語の授業の一環
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクションシーン <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョンシーン



○本校における英語教育・国際理解教育について

英語の授業は、中学で英語・英会話で週に6時間から7時間、高校では学年により2から3科目を週に5時間から9時間学習する。ほとんどの学年で週に1時間ずつの英語圏出身の教員による少人数での授業がある。中学生は英会話、高校生はパラグラフ・ライティングの練習と英語で物事を論理的に考える練習とプレゼンテーションを練習する。

国際理解教育は、55年ほどの歴史を持っており、姉妹校・提携校への一年留学派遣、短期研修派遣により、延べ10,200人ほどの生徒が何らかの形で海外にて教育を受ける機会に恵まれてきた。特に秋のカナダ語学体験ツアーは目玉行事となっており、35年以上実施されている。

○利用日の行程



○事前学習や事後学習について

普段の授業は、教科書で学習した文法や語彙を実際に「使う」ことを意識しながら授業を行っている。全体での概要説明と諸注意のみ行い、通常の授業の中で動機付けをした。日頃からの取り組みで十分準備はできており、特に新しいことを加える必要がなかったため、事前学習・事後学習という形では明確には実施していない。

○児童・生徒の変容について

今回TGG語学研修は「普段の授業で接している教員以外の方と英語でやりとりをする実践の場を持つ」ために実施した。生徒たちは「授業で学んだ知識を生かすことができ、成長を感じることができた」「もっと様々なことを話せるように、知識を深めていきたい」等の声が聞こえた。

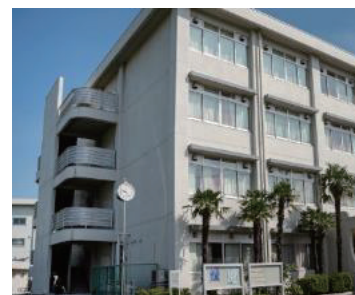
日々の学習を振り返り、今後の学習の目標を持つことができた。英語を苦手と感じている生徒の中にはコミュニケーションをとろうとする姿勢の大切さや、グループ内で協力し合って目的を達成する楽しさに気づいた生徒もあり、英語という手段を通して多くを学んだ一日となった。

○本校のTGG利用の特徴について

日帰りで、日頃の学習成果を試す場所・機会である。中学2年生は中級を立川で、高校1年生は青海で上級を、さらに高2の選択授業で最上級レベルの活動を体験する。2回、または3回体験することにより、自分の中での達成度を確認し、さらに英語学習のモチベーションを高めることができる。

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年4月25日(火)
利用学年・参加人数	第1学年・317人
利用コース	1日
利用級	中級
教育課程上の位置付け	学校行事
利用プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> アトラクションシーン <input checked="" type="checkbox"/> アクティブイマージョンシーン



○利用日の行程



○TGGでの取組みおよび成果について

「ホテル」や「空港」などの現実的でさまざまな場面設定のもと、グループごとに与えられたミッションを、英語を使って達成するために、生徒は積極的にコミュニケーションをとろうとしていた。その成果として、英語が通じた嬉しさやコミュニケーションの楽しさ、難しさを感じ、挑戦する力や諦めない力を養えたことを実感した。

○児童・生徒の変容について

英語の授業では英語を使って会話を続けようとしたり、授業外でも積極的にALTに英語で話しかけたりする姿勢がみられるようになった。また、言語学習やコミュニケーションにおいて何が大切で、何をすべきかについて考えるようになった。(以下、生徒の振り返りより抜粋)

- ・一人で発音するのと相手がいて話すことでは天と地くらいの学習の効率に差があると感じ、積極的に取り組もうと思った。
- ・日本人以外とコミュニケーションを取ることに少し抵抗があり、外国人を怖いと思ってしまっていた部分があった。しかし、今回さまざまな国の方との交流ができ、その偏見をなくすことができ、国と国で壁はないのだと思った。
- ・TGGの方々の、明るく心の広い対応のおかげで、失敗を恐れずにとりあえず英語を使ってみようとたくさん挑戦することもできた。一番は言語が違ってもコミュニケーションを取ることは難しいことではないと学ぶことができたので、もっと選択肢を広げていけるように英語を極めていきたいと思った。

○事前学習や事後学習について

事前学習としては、TGGホームページよりダウンロードした「Prep Book」や、オリエンテーション動画を活用させていただいた。事後学習としては、「体験で学んだこと」「体験で挑戦したこと・難しかったこと」「次回TGGに来たら挑戦したいこと」について振り返りを行った。

英語の授業では、教員がオールイングリッシュで授業を展開したり、生徒のスピーキング活動を積極的に取り入れたりするなど、生徒が英語にかかわる機会を増やす工夫を行っている。

体験して本当に良かったTGG

青森市立筒井中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年4月20日(木)
利用学年・参加人数	第3学年・141人
利用コース・利用級	半日(セッション1-2)・中級



○利用日の行程

- 1日目 青森 → 上野散策 → 国立競技場スタジアム体験ツアー → 東京タワー → ホテル
- 2日目 ホテル → TOKYO GLOBAL GATEWAY → 東京ディズニーランド → ホテル
- 3日目 ホテル → 皇居散策 → 浅草(浅草寺)散策 → 青森

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

修学旅行のねらいの一つに「広い知見と豊かな情操を養う」ことを掲げており、日本にしながら留学気分を味わえ、生きた英語を使う機会ができることに魅力を感じた。英語を話さざるを得ない環境において、TGGエージェントの親切な対応により、成功体験を得て、さらに英語学習に意欲的に取り組むことが期待できることから利用を考えた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

青森から移動時間と生徒の体験意欲、2泊3日の行程等を考慮し2日目の午前に設定。集中して学習に取り組める午前中に体験学習を組み、午後はディズニーで楽しむというメリハリをつけた。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果(学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等)

事前学習ではあまり乗り気ではなかったが、当日はエージェントの親切・丁寧な対応のおかげでコミュニケーションもとれ、自信もついた。「もっと勉強して将来の留学に役立てたい」などと、利用後は、英語を学ぶ必要性を実感でき、意欲的に授業に取り組むようになった。

修学旅行での英語体験学習

二戸市立福岡中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年4月11日(火)
利用学年・参加人数	第3学年・111人
利用コース・利用級	半日(セッション1-2)・中級



○利用日の行程

- 1日目 二戸市出発 8:23=(新幹線)→ 東京駅→ 国会議事堂→ 学級別研修→ 選択研修→ ホテル
- 2日目 ホテル→ TOKYO GLOBAL GATEWAY→ 東京ディズニーランド→ ホテル
- 3日目 ホテル→ 上野公園→ 東京スカイツリー→ 東京駅=(新幹線)→ 二戸市到着 18:00

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

岩手の中学生はなかなかグローバル化の実感が持ちづらいため「外国人と英語のみを使ったコミュニケーション体験」のできるTGGの活用を考えた。また少人数グループでの活動のため、生徒が英語の必要性を実感し、コミュニケーションの楽しさを学ぶことができることを期待し利用を決めた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

今回の修学旅行では、TGGを主要な訪問先として計画を立案。3日間の旅行期間中、最も自由に日程を設定できる2日目に訪問することで、時間的に余裕をもって活動に参加できるようにした。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果(学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等)

「修学旅行のまとめ」の発表会では、TGGでの活動で英語を学ぶ必要性を強く感じたという感想が多く寄せられた。また英語科授業において、TGGで学んだ表現を使用したり、ちょっとした会話に英語を使用する場面が多くなったりと、生徒の英語使用への意識の高まりを実感している。

修学旅行における英語体験学習

盛岡市立松園中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年4月13日(木)
利用学年・参加人数	第3学年・85人
利用コース・利用級	特別半日(セッション4)・初級+



○利用日の行程

- 1日目 盛岡発→東京駅→国会議事堂→SMALL WORLDS→浅草散策→スカイツリー→ホテル
- 2日目 ホテル出発→ TOKYO GLOBAL GATEWAY→ 東京ディズニーランド→ ホテル
- 3日目 ホテル出発→ 湯島天神～クラス別研修→ 東京駅発→ 8:15 松園中学校着、解散

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

修学旅行の狙いの一つとして「日本の首都において多様な文化にふれたり体験したりすることで、社会的視野を広げる」を設定している。また本生徒達の特性として、やや内向的で自己表現することを躊躇する傾向があり、課題となっていた。それらを達成、克服するよい機会として利用を考えた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

初日に東京各所での見学・活動を行い、2日目の慣れた頃にTGGを設定した。午後はディズニーランドなので、TGGで活動し気持ちを引き締めてから午後に向かわせる意図もあった。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果(学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等)

今回の指導の重点に設定した「教師による支援や指導を適宜行いながら、生徒の主体的な活動を促す」について、想定以上にエージェントが生徒の主体性を引き出し、これまでにないほど生徒の積極的な姿が見られた。事後に書いた生徒の個人新聞にも達成感があったことが記されていた。

英語の力を高める・確かめる研修

朝日町立朝日中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年5月19日(金)
利用学年・参加人数	第3学年・54人
利用コース・利用級	半日(セッション1-2)・中級



○利用日の行程

- 1日目 山形駅 → 早稲田でPR活動 → 劇団四季 → ホテル
- 2日目 ホテル → TOKYO GLOBAL GATEWAY → 東京ディズニーランド → ホテル
- 3日目 ホテル → 浅草寺 ⇒ 浅草・上野自主研修 → 上野駅 → 山形駅 → 学校

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

朝日町は英語教育の充実をねらいとし、小学生の修学旅行で福島県のブリティッシュ・ヒルズでの体験を、中学生ではTGGでの体験を推奨している。町の方針を受け、本校では、修学旅行でのねらいの一つとして、英語を使ったコミュニケーション体験を通して英語に対する興味や関心をさらに高めるためにTGGを活用した。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

3日間の修学旅行の中で、それぞれの日ごとに核となる体験活動を組み入れた。TGGは2日目の中心となる体験活動である。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果(学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等)

英語の授業では、積極的に英語を使って会話しようという姿勢が高まってきた。町が主催する海外との交流事業も今年度復活するが、多数の申し込みがあった。モンゴルから体験入学に来た交流生との会話も、違和感なく英語を使って行うことができた。

探究し続ける縣陵人を育てる

長野県松本県ヶ丘高等学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年7月26日（水）
利用学年・参加人数	第2学年・293人
利用コース・利用級	半日（セッション4-5）・中級



○利用日の行程

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 1日目 | 松本 → TOKYO GLOBAL GATEWAY → 台場 → ホテル |
| 2日目 | ホテル → 大学研修（東京大学 他 全7コース） → ホテル |
| 3日目 | ホテル → 羽田空港研修 → 松本 |

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

本校（通称：縣陵）では、卒業後も探究し続ける生徒を育てるべく、様々な校外研修を実施している。本研修は2年次に計画している海外研修の事前学習として、体験型英語学習施設での学びを通して、英語力の向上を図りながら今後の英語学習の糧とすることを目的としている。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

在籍生徒320名中、293名の参加希望があり、校外研修・英語学習への意欲の高さを感じた。3日間の研修期間の内、TGGは1日目の午後に入れた。アクティブな活動を初日に入れることで研修全体に活気が生まれた。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

生徒の事後アンケートからも満足度は極めて高く、本校でTGGの体験を取り入れてから、英語学習の意欲が確実に向上している。海外に目を向ける生徒が増え、海外に目を向け探究し続ける縣陵人が着実に育っていると実感している。

グローバルな人材育成を目指して

福井県立高志中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年3月9日（木）
利用学年・参加人数	第2学年・87人
利用コース・利用級	半日（セッション4-5）・中級



○利用日の行程

- | | |
|-----|--|
| 1日目 | 福井出発 8:30→Makers University 研修→東京で働く「福異人」研修(15:30～19:00) |
| 2日目 | ホテル発→東京都内別企業訪問研修→昼食→TGG 研修(13:30～17:00) →ホテル着 17:30 |
| 3日目 | 国立科学博物館研修(9:00～10:30) →東京ディズニーランド(11:00～16:00) →福井着 |

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

「ふるさと福井」に誇りを持ちながら、東京から見た福井の姿を知り、ふるさとの未来の在り方や自分自身の将来を考える契機とすることを研修の目的としている。TGGではリアルな体験を通じた英語学習ができるため、グローバルな人材育成とコミュニケーション力の向上を目的に導入した。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

次年度の海外研修に向けて、一人ひとりが主体的に、またメンバー同士が互いに協力しながら、課題に取り組めるようにグループ分けを行った。リーダーを中心に積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする生徒の姿が見られた。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

生徒同士で活動の振り返りを行い、自分の英語が伝わる喜びや普段の学習の成果を実感できる喜びを共有することができた。また言葉だけでなく相槌やジェスチャーの大切さを再認識し、今後の英語学習に意欲的に取り組む動機づけになった。

修学旅行での英語体験学習

名古屋市立守山西中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年6月14日（水）
利用学年・参加人数	第3学年・35人
利用コース・利用級	特別半日（セッション4）・初級+



○利用日の行程

- 1日目 名古屋駅→東京ディズニーランド→ホテル
- 2日目 ホテル→クラス別分散学習（TOKYO GLOBAL GATEWAY）→清里高原ペンション
- 3日目 ペンション→自然体験学習→学校

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

海外で実際に起きそうな場面を自分達の英語で解決するプログラムを通じ、英語コミュニケーションの成功体験が得られるTGGを利用したいと考えた。また各グループにエージェン트가付き添い、実践的かつ探究的な学習に取り組めるところが魅力的であったことも利用目的の1つである。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

1日目はディズニーランド、3日目は清里高原での自然体験学習を予定していたため、2日目に、TGGでの英語体験学習を取り入れた行程を作成した。生徒たちが積極的にプログラムに取り組み、メリハリのある修学旅行となった。

○TGG利用前後の学校での取り組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

TGGを利用する前は、英語のみのコミュニケーションに不安を感じている生徒が少なくなかったが、様々なプログラムを通して「英語で伝えられた！」という感動を味わうことができ、とても充実した体験となった。事後のアンケートでは、クラス全員が「TGGでの体験はとても楽しかった」「楽しかった」にチェックをつけていたため、楽しく思い出に残る時間になったと感じている。

コミュニケーション力の向上

福知山市立大江中学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年6月9日（金）
利用学年・参加人数	第3学年・36人
利用コース・利用級	半日（セッション1-2）・中級



○利用日の行程

- 1日目 東京駅→都内班別研修→東京スカイツリー→ホテル
- 2日目 ホテル→都立第五福竜丸展示館→浅草寺→東京ディズニーランド
- 3日目 ホテル→TOKYO GLOBAL GATEWAY→東京駅

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

本校は、1学年1学級のため、校内及び地域の方とは親しくコミュニケーションをとれる環境ではあるが、英語学習とともにコミュニケーション力の向上を目的として取り入れた。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

最終日は、TGG以外の行程は入れずに、TGGでの学習に集中できるように行程を組んだ。そのことによって、朝から英語であいさつをする姿や自己紹介の練習をする姿がみられた。

○TGG利用前後の学校での取り組み、成果（学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等）

事前にプログラム動画を見てイメージを深め、自己紹介や実際に使うフレーズの事前学習を行い、利用後は、英語の学習意欲が向上しコミュニケーションの大切さを実感することができた。

グローバル・リーダー育成に向けて

岡山県立岡山城東高等学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年6月22日(木)
利用学年・参加人数	第2学年・80人
利用コース・利用級	半日(セッション1-2)・中級



○利用日の行程

1日目	岡山駅→神奈川近代文学館・横浜開港資料館→横浜中華街→ディナークルーズ→ホテル
2日目	ホテル→東京大学→都内班別自主研修→ホテル
3日目	ホテル→TOKYO GLOBAL GATEWAY→東京ディズニーリゾート→ホテル
4日目	ホテル→コース別博物館研修→岡山駅

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

グローバル社会で活躍し、その発展に貢献する人材(城東型グローバル・リーダー)の育成を目指す本校のミッションに基づき、修学旅行ではグローバル社会を体感できるプログラムを毎年組み込んでいる。英語を用いた積極的なコミュニケーション能力の向上を図り、TGGを導入した。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

まずアトラクションエリアで日常会話を体験。日頃の英語学習の成果を実感する場とした。

また人文社会学類(文系)の研修だったため、経営学や外国語学を意識したプログラムを選択。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果(学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等)

英語の授業ではspeakingに対して以前よりも発音を明確にする、テストのためだけでなく語彙を増やして表現の幅を広げようとするなど、相手に自分の考えをよりよく伝えようとする表現力の向上が見られた。

修学旅行での英語体験学習

愛媛県立新居浜東高等学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和5年6月23日(金)
利用学年・参加人数	第2学年・149人
利用コース・利用級	半日(セッション1-2)・中級+



○利用日の行程

1日目	学校→高松空港→羽田空港→横浜中華街→チームラボ→劇団四季観劇→ホテル(舞浜)
2日目	ホテル→東京都内班別自主研修・・・東京スカイツリー→ホテル(舞浜)
3日目	ホテル→東京ディズニーリゾート(ディズニーランド・ディズニーシー)→ホテル(舞浜)
4日目	ホテル→TOKYO GLOBAL GATEWAY→お台場(昼食)→羽田空港→松山空港→学校

○修学旅行・研修旅行におけるTGG利用の目的

外国にいるようなリアルな空間で英語によるコミュニケーションに挑戦できる体験型施設としてTGGを毎年利用しており、今年度も利用させてもらった。

○TGG利用を取り入れた行程作成の工夫、行程の特徴

関東への修学旅行のメインは東京ディズニーリゾートと東京都内班別自主研修となるが、最終日の午前中にTGGのプログラムを入れることにより、行程全体に厚みが出て、全体として有意義な時間を過ごすことが出来た。

○TGG利用前後の学校での取組み、成果(学校での事前・事後学習、利用後の生徒の変容度等)

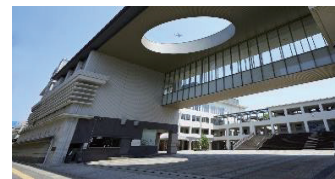
英語に包まれた空間に入って気持ちが高まり、外国人の講師の方もわかりやすく丁寧に教えてくれたので、楽しく学ぶことができた。「今後はTGGで体験したことや学んだことに磨きをかけて、もっと英語が使えるようになりたい」といった声が多く聞かれた。

修学旅行におけるグローバル学習

筑紫女学園高等学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和4年11月21日(月)
利用学年・参加人数	第2学年・367人
利用コース・利用級	半日(セッション4-5)・上級



○利用日の行程

- 1日目 福岡空港集合 → 羽田空港着 → TGG (午後コース) → 中華街 → ホテル
- 2日目 コース別研修 → ホテル
- 3日目 東京都内班別自主研修 → ホテル
- 4日目 東京ディズニーリゾート → ホテル
- 5日目 大学訪問 → 羽田空港着 → 福岡空港着

○修学旅行におけるTGG利用の目的

英語によるコミュニケーションの場を設けることによって、普段の英語学習の成果を発揮させるとともに、地元福岡の未来を考える上で、東京のグローバルな環境を体験させたいと考えた。

○TGGでの取組みの内容・特徴

アトラクションエリア(ホテル、飛行機など)で海外の日常生活を体験するとともに、本校における総合的な探究の時間で取り組んだSDGsや多文化理解プログラムを取り入れた。

○TGG利用の成果(生徒の変容度・学校の授業に活かしている点等)

実際の対面での場面においても積極的に英語を使うことができるようになった。

TGGで実践英語研修

熊本学園大学付属高等学校

【TGG利用に関する基本情報】

利用日	令和4年6月24日(金)
利用学年・参加人数	第2学年・55人
利用コース・利用級	半日(セッション1-2)・中級



○利用日の行程

- 1日目 熊本空港 → 羽田空港 → つくばサイエンスツアー → 東京ソラマチ → ホテル(都内)
- 2日目 TGG (午前コース) → 都内班別自主研修 → 浅草演芸ホール → ホテル(都内)
- 3日目 国会議事堂 → お台場散策 → 羽田空港 → 熊本空港

○修学旅行におけるTGG利用の目的

学校で学ぶ英語を実践的に使う良い機会と考え利用させてもらった。

○TGGでの取組みの内容・特徴

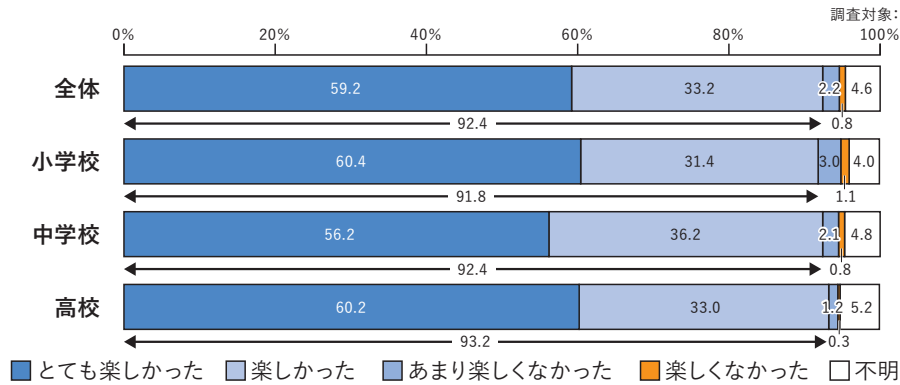
海外生活での英会話を実践するためアトラクションを選択し、リアルに再現された飛行機内やホテル、レストラン、クリニックなどで、フレンドリーなエージェントが生徒たちをうまくリードし、英語を使うことを楽しむことができた。アクティブイマージョンプログラムでは、演劇やスピーチテクニックを体験し、エージェントの指導が素晴らしく生徒たちはいつも以上に英語を使っていた。

○TGG利用の成果(生徒の変容度・学校の授業に活かしている点等)

TGGでのコミュニケーションは、オンライン英会話を大きく上回る喜びがあり、英語学習へのモチベーションに繋がった。また他校の様子に刺激を受け、もっと頑張りたいという声が多かった。

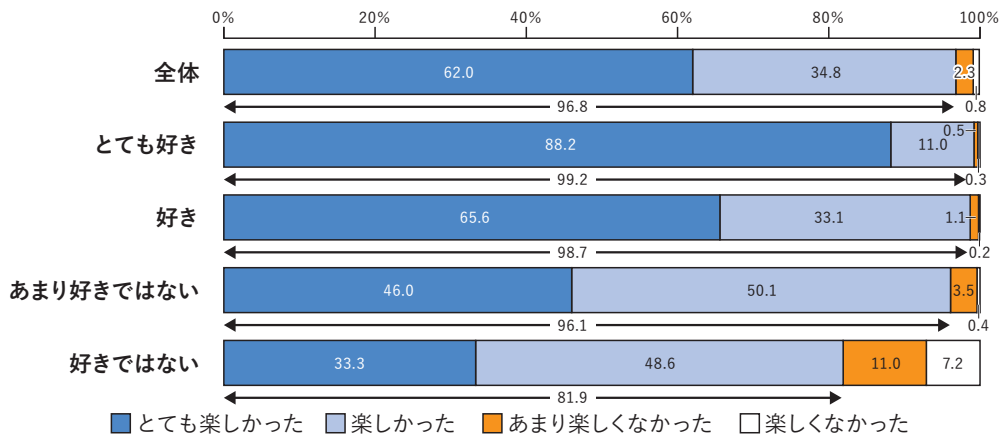
TOKYO GLOBAL GATEWAYの利用効果

Q1 TGGは楽しかったですか（TGG利用後：児童・生徒）



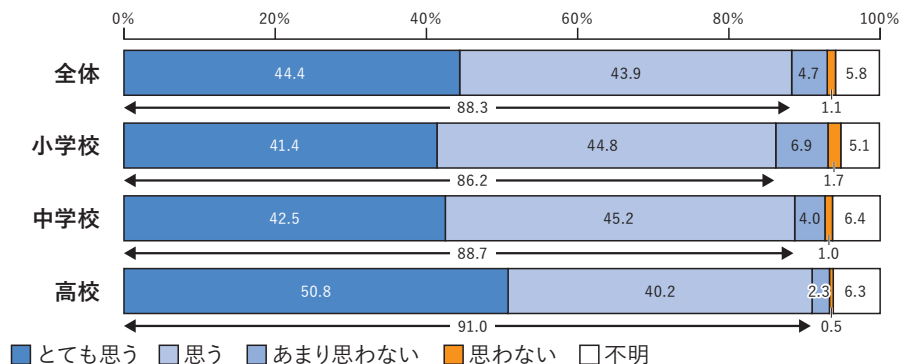
TGGにおける日常とは異なった臨場感のある空間で英語を使う体験について、利用後に聞いたところ、「とても楽しかった」と「楽しかった」を合わせた<<楽しかった>>の割合は全体で92.4%であり、どの校種でも9割を超えている。

Q2 「英語が好きですか」 × 「TGGは楽しかったですか」（TGG利用後：児童・生徒）



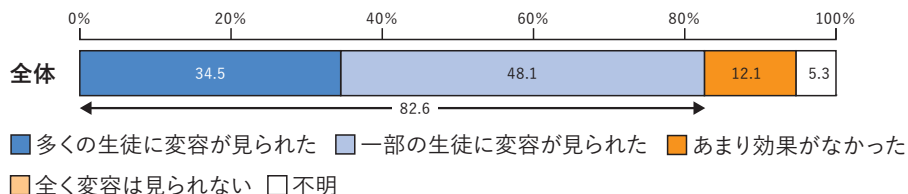
TGG の利用前のアンケートで、英語学習について、「あまり好きではない」と回答した児童・生徒の96.1%、「好きではない」と回答した児童・生徒の81.9%がTGGでの体験を<<楽しかった>>と回答しており、英語に心理的抵抗感や苦手意識がある児童・生徒も、TGGでの体験が楽しかったと感じていることが分かる。一旦学習内容に心理的抵抗感や苦手意識をもつと、授業の中で克服するのは容易ではないことを想定すると、これは、TGG の効果の一つとして特筆すべき点である。

Q3 TGGでの体験は、今後の英語学習の刺激になりましたか（TGG利用後：児童・生徒）



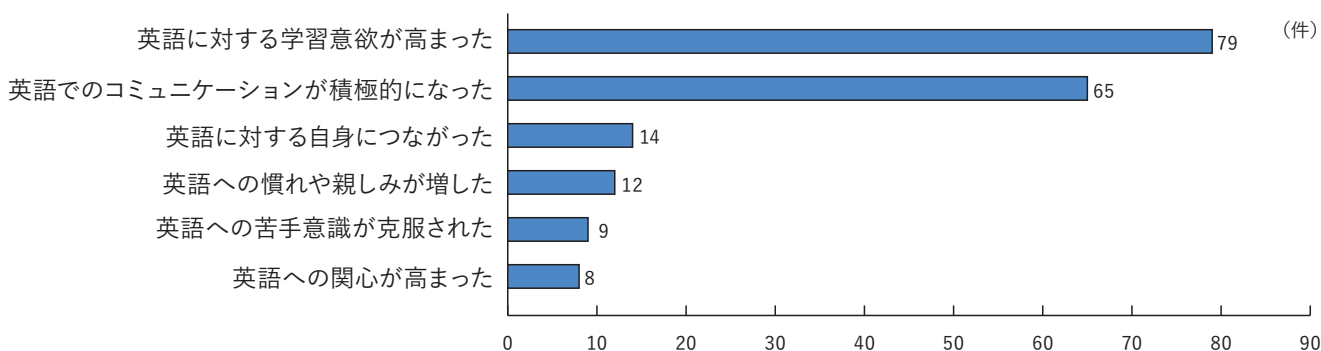
TGGでの体験が、今後の英語学習の刺激になったかについて、「とても思う」と「思う」を合わせた<<思う>>の割合は88.3%であり、どの校種も約9割であった。高校は「とても思う」が他の校種よりも高く5割を超えている。

Q4 TGG の利用後、生徒に何らかの変容は見られましたか (TGG利用後：教員)



TGGの利用後に生徒に何らかの変容が見られたかについて、教員に聞いたところ、「多くの生徒に変容が見られた」が34.5%、「一部の生徒に何らかの変容が見られた」が48.1%で、何らかの変容が見られた割合の合計は82.6%であった。変容が見られた生徒が大部分であり、中でも「多くの生徒に変容が見られた」が3割を超えていることは評価できる。

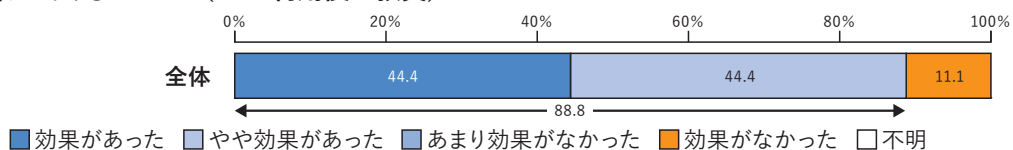
Q5 どのような変容が見られましたか (TGG利用後：教員)



※1つの回答に複数の内容を含むものは複数の項目にそれぞれカウントしている。

生徒に見られた変容の内容について見ると、<<英語に対する学習意欲が高まった>>が79件、<<英語でのコミュニケーションが積極的になった>>が65件と、意欲や積極性に関するものが多く、教員が授業の様子などから児童・生徒の変化や成長を実感できている様子うかがえる。

Q6 教育上の効果はありましたか (TGG利用後：教員)



TGG利用時の教育上の効果について、「効果があった」と「やや効果があった」を合わせた<<効果があった>>の割合が88.8%と大部分を占める。

まとめ

英語や英語学習について、児童・生徒は英語を話す際に恥じらいや緊張感を感じている様子うかがえる一方、英語が通じた喜びを感じたり、英語学習における目標をもっていたり、人生の中で英語を使ってみたいという意欲をもっていたりすることがうかがえる。TGG の利用前後の結果等を見ると、教室とは異なる空間での体験を通じたコミュニケーション意欲向上など、心理的抵抗感や苦手意識の克服につながる効果が見られた。



令和5年度(2023)
実践事例集